

宮崎大学農学部

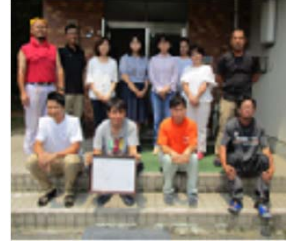
～GAP教育のノウハウを活かした指導者育成～

<基本情報>

所在地:宮崎県宮崎市
代表:酒井 正博
構成員:27名



木花フィールド:JGAP



住吉フィールド:GLOBALG.A.P.

<経営概要>

経営面積:6.354ha
飼養頭数:乳用牛:33頭、肉用牛:133頭、豚:51頭
認証品目:
・青果物(かぶ、かんきつ、かんしょ、キャベツ、さといも、等)
・穀物(米)
・畜産(肉用牛、仔牛、生乳、豚)

<GAPの取組状況>

GAPの取組を教育カリキュラムに組み込み、国際的GAP人材の育成を行うとともに、地域のGAP推進を支援。

平成23年 GAP教育プログラムを開発
平成23年11月 JGAP青果物の認証を取得
平成24年12月 JGAP穀物の認証を取得
平成26年 8月 GLOBALG.A.P.畜産の認証を取得

<人材育成>

GAPの教育カリキュラムに取り入れ、卒業生のみならず学外のGAP指導員育成に貢献

- ① 平成24年度にGAP指導員講座を新設し、これまで、260名以上のJGAP指導員資格を持った卒業生を輩出。
- ② 平成28年度からは、宮崎県と協力し学外の方へ、一般的な座学のみならず、実践的な現地研修を取り入れた青果物・穀物向けの指導員・審査員研修を実施。
- ③ 平成29年度からは、県と連携して、畜産GAPの指導員育成のための研修を開始しており、宮崎県内の畜産GAPの普及体制構築を支援。
- ④ 宮崎県内のみならず、県外からの視察の受入や講師派遣にも積極的に対応し、全国レベルでのGAPの普及に貢献。
- ⑤ 令和2年度からは、宮崎県や経済連騰が進める団体認証の取組の支援を行う予定。



現地研修風景

<GAPの普及に向けた取組・効果>

卒業生を含めたGAP指導員の育成による、宮崎県内におけるGAPの普及促進への貢献。
行政、生産者のみならず、農業高校等の教育機関へのGAP普及への支援